

企画振興部人材育成計画（令和7年度版）

【目 次】

1. 策定の目的

- （1）共通分野
- （2）専門分野

2. 具体的な取組

- （1）共通分野
 - ①政策形成に必要な知識の習得、スキル向上
- （2）専門分野
 - ①地域振興
 - ②国際人材の育成
 - ③芸術文化・スポーツの振興
 - ④広報広聴マインドの醸成
 - ⑤政策県庁のための統計
 - ⑥公共交通の維持・活性化

3. 人事配置の考え方

- （1）共通分野
 - ①新たに政策（企画）担当者を目指す職員
 - ②政策（企画）担当者としての経験や知識を積み重ねたい職員
 - ③県行政の総合企画及び重要施策の総合調整を担う職員
- （2）専門分野
 - ①統計分野
 - ②芸術文化分野

企画振興部人材育成計画（令和7年度版）

1. 策定の目的

「安心」「元気」「未来創造」の大分県づくりの着実な推進に向け、職員一人ひとりの能力向上及び意識改革を積極的、かつ、継続的に進めていかなければならない。

また、組織力の向上では、所属長のマネジメント力、班総括のリーダーシップ及び部下育成力の向上とともに、目標の達成に向けては、上司からのOJTも重要となる。

このような状況において、企画振興部は政策県庁の要として、政策立案能力や政策実行能力の向上をはじめ、専門性や現場感覚、コミュニケーション能力等の職務能力の向上に、積極的に取り組む必要がある。

本計画は、当部が実施する研修等について、共通分野、専門分野に分けて定めるものである。

（１）共通分野

「政策県庁」の要として、政策のステップアップを図り、効率的な政策（事業）執行に取り組む必要がある。また、働き方改革やワーク・ライフ・バランスを推進する上でも、個々の職員の能力向上は不可欠である。

企画振興部は、政策県庁を推進する役割と機会を十分活用し、部局横断的な政策議論・総合調整を範とした「政策風土」の形成と政策マインドの醸成、政策立案スキル・知識の向上などを図る。

（２）専門分野

企画振興部は、地域振興や海外戦略をはじめ、芸術文化・スポーツ、広報、統計、交通など、幅広い分野を所管するなど、幅広い知見が求められる。

このため、個々の業務と研修を通じ、政策県庁の要として部局横断マネジメントのスキルを身につけるなど、施策を推進する上で必要な人材育成を図る。

また、政策県庁の実現にはEBPM（証拠に基づく政策立案）の推進が欠かせないことから、統計に係る専門知識の習得と実務経験を積んだ人材を計画的に育成する。

2. 具体的な取組

(1) 共通分野

①政策形成に必要な知識の習得、スキル向上

- 政策形成能力の向上を図る「政策形成研修会」の開催
 - ・事業構築の経験が浅い職員を対象として、事業構築の具体的な方法、効果的な事業執行方法、事業の見直し等を内容とする研修会を実施
- 部落差別問題をはじめとする人権問題、公務員倫理等について学ぶ「合同研修会」の開催
 - ・全職員を対象として、認識を深める必要のある「部落差別問題をはじめとする人権問題」「公務員倫理」及び、各職員に共通して必要となる知識等に関する研修会を実施

(2) 専門分野

①地域振興

- 地域創生部基礎研修
 - ・地域創生部の新任職員を対象に、補助金を執行する上での注意点など、基礎的な内容を学ぶ研修を開催
- 地域創生部事例研修
 - ・地域創生部職員を対象に、地域振興に関する事例を学ぶ研修を開催

②国際人材の育成

- 国際人材育成研修
 - 【中国語・韓国語（日常会話レベルの語学力習得）】
 - ・業務で中国語・韓国語を必要とする職員や、中国語・韓国語の学習経験があり、国際関係事業に携わりたいことを希望する職員等を対象として、国際交流員を講師とする会話・文化研修を実施
 - 【英語（ビジネス英語レベルの語学力習得）】
 - ・業務で英語を必要とする職員や、日常会話レベルの能力があり国際関係事業に携わりたいことを希望する職員を対象として、国際交流員や知事通訳担当職員を講師とする英会話・文化研修を実施
 - ・海外からの要人来県時に通訳ができる人材を育成するため、高い語学レベルの職員を語学学校に派遣

2. 具体的な取組

(2) 専門分野

③芸術文化・スポーツの振興

○芸術文化振興のための人材育成

- ・アルゲリッチ芸術振興財団への研修派遣による、運営・企画及び広報のノウハウを学ぶ機会の提供
- ・豊富な経験を持つ有識者等との意見交換やセミナー参加による最新動向の習得等の支援
- ・学芸員を対象として、国内外の美術館との関係構築、専門家・幅広いアート人材との交流、展示会等の企画・運営を通じた、芸術文化の情報発信能力の向上

○スポーツ振興のための人材育成

- ・大分フットボールクラブへの研修派遣による、クラブ運営の実務を通じた、県民スポーツの振興やスポーツを活用した地域振興の方策等の習得

④広報広聴マインドの醸成

○「広報広聴基本マニュアル」等の整備・活用

- ・「広報広聴基本マニュアル」や「危機管理広報マニュアル」など、広報に役立つ資料の周知徹底

○「デジタルマーケティング研修」等の開催

- ・様々なデジタルメディアを通じたマーケティング研修の開催
- ・大分県自治人材育成センターが実施する職員研修や部局別広報研修会を通じた「広報広聴パーソン」としての心構えやパブリシティを含む各種広報媒体の活用
- ・危機管理広報について習得する機会の提供

⑤政策県庁のための統計

○デジタル人材の育成につながる統計リテラシーの向上を目的とした研修等の実施

- ・国（総務省）の統計研修の活用

[基礎研修] 統計担当者向け入門、統計利用・統計分析・調査設計の基本等

[分野別研修] 政策立案・政策評価と統計、ビッグデータ利活用、データサイエンス入門・演習、国民・県民経済計算、産業連関表の作成・分析、社会・人口統計の基本、人口推計、GISによる統計活用 等

- ・デジタル人材の育成につながる統計データの利活用や分析の手法等に関する研修の実施

⑥公共交通の維持・活性化

○公共交通を担う振興局職員や市町村職員の人材育成

- ・公共交通の維持・活性化の重要性や実効性を担保する制度等について理解を深めるための研修会の実施

3. 人事配置の考え方

(1) 共通分野

①新たに政策（企画）担当者を目指す職員

これまでの業務経験と知識を生かし、部内関係所属における政策（企画）立案等の実践を志す人材を配置する。

②政策（企画）担当者としての経験や知識を積み重ねたい職員

企画振興部内外での経験・知識を生かし、かつ、部内の関係所属における新しい分野の政策（企画）立案等の実践に参画しようとする人材を配置する。

③県行政の総合企画及び重要施策の総合調整を担う職員

企画振興部内外での政策（企画）立案等の実践経験を生かし、政策企画課において、県行政の総合企画及び重要施策の総合調整に参画できる人材を配置する。

(2) 専門分野

①統計分野

（一般職員）

統計アナリストの育成を視野に入れ、公的統計の正確な作成や統計データの利活用の重要性を認識し、統計業務に意欲を持った職員を配置する。

（中核職員）

庁内のシンクタンク機能を担う人材として、県政全般にわたる知見を有し、また統計分析等に精通した意欲的な職員を配置する。

②芸術文化分野

（学芸員）

所蔵する多数の近現代美術品等の適正管理や新たな美術品の収集、ワークショップやアウトリーチ等の専門業務を担う人材として県立美術館に配置するほか、専門知識を活用して芸術文化行政を推進し、本庁と県立美術館の橋渡しをする人材として芸術文化振興課に配置する。